



岡崎市立愛宕小学校 校長通信 令和5年2月21日（火）



だいすきいっぱい チーム愛宕



2月14日（火）、愛宕小学校の伝統的な行事である「みかん狩り」が行われました。最初にみかん狩り集会が、美化委員会の司会進行で行われました。美化委員が考えた、みかんに関する三択クイズで、みかんのことを知りました。今年は約700個実りました。平成29年には過去最高の3000個以上が実ったと聞いています。その翌年平成30年は、556個で少なかったようです。こればかりは予想が付きません。来年はいくつ実をつけるのか楽しみです。いつも美化委員会で数を数えています。家で食べた子供たちからは、「すっぱかったけど美味しかった」の感想を聞きました。



愛宕小学校のみかんの木は、1976年(昭和51年)10月に、植えられました。当時は体育館とプールが西側にあり、その東側に植えられていました。私が勤めていた平成5年から4年間、体育館横のみかんの木を、部活を指導しながら眺めていたのを思い出します。その数年後、体育館とプールの新築移転に伴い、現在の場所に移植されました。愛宕小の伝統行事となっています。



3学期はあっという間です。もう2月が終わり、いよいよ3月の卒業シーズンに入ります。6年生は小学校生活のまとめとして、毎日毎日を大切に生活しています。在校生へ残し、伝えていくべきことを、自らの姿で示そうとしています。挨拶、掃除もその一つです。卒業生と在校生が互いに学び合える環境があります。在校生は、歌の練習が始まりました。歌をとおして気持ちを伝えるような、心からの表現ができることを願います。みんなで卒業を祝う雰囲気をつくっていきたいと思います。コロナ感染も落ち着いてきました。通常の学校生活に戻りつつあります。あと1か月、それぞれの学級でしっかりとまとめをし、次学年への準備、心構えをしていきます。「この1年、この仲間と一緒にやれてよかった」と最後の日に思えるように。そして、「来年度も楽しみ」と思えるように。愛宕小学校には小鳥たちが多くやってきます。子供たちもその様子を観察しています。校庭に唯一ある梅の木も、花を咲かせる季節となりました。春の訪れを感じます。自然に目を向けると心が落ち着きます。

